

桜美林大学北東アジア総合研究所・日中関係学会

竹内実「中国論」自選集 完成記念シンポジウム

別巻で話題作「ケータイ」も発刊



竹内実氏

竹内氏は「中国論」自選集の完成を記念して、10月19日、桜美林大学北東アジア総合研究所と日中関係学会が共同で開催する「竹内実先生追悼シンポジウム」を開催する。竹内氏は、中国論の第一人者として知られ、その著書は多くの人々に読まれている。今回のシンポジウムでは、竹内氏の著書について、その意義と影響について、関係者から発表や議論が行われる。また、別巻として「ケータイ」も発刊される。

「動く中国、動かない中国」

京都大学名誉教授 竹内実氏

10月19日、桜美林大学北東アジア総合研究所と日中関係学会が共同で開催する「竹内実先生追悼シンポジウム」を開催する。竹内氏は、中国論の第一人者として知られ、その著書は多くの人々に読まれている。今回のシンポジウムでは、竹内氏の著書について、その意義と影響について、関係者から発表や議論が行われる。また、別巻として「ケータイ」も発刊される。



劉燕子氏

劉燕子氏は、中国の現代社会について、その変化と課題について、多くの著書を発表している。今回のシンポジウムでは、劉氏の著書について、その意義と影響について、関係者から発表や議論が行われる。また、別巻として「ケータイ」も発刊される。

「ケータイ」と中国の社会

作家・翻訳家 劉燕子氏

「ケータイ」と中国の社会。劉燕子氏は、中国の現代社会について、その変化と課題について、多くの著書を発表している。今回のシンポジウムでは、劉氏の著書について、その意義と影響について、関係者から発表や議論が行われる。また、別巻として「ケータイ」も発刊される。